

開催日時 : 2019 年 6 月 8 日 (土) 13:30~17:30
開催場所 : 日本家政学会会議室
出席者: 大塚会長、久保、平田各副会長、綾部、今川、岸本、小林、定行、杉浦、高村、堀、堀内、峯木、山口各理事、赤塚、河田各監事

【議案】

第 1 号議案 総務委員会(平田副会長)

(1) 入会申し込み者の承認

正会員 12 名、学生会員 2 名、計 14 名の入会を承認した。

第 2 号議案 年次大会運営委員会

(1) 2019 年度日本家政学会代議員総会(綾部理事)

代議員 47 名の出席により開催され、第 1 号、第 2 号議案はすべて承認されたことが報告された。

(2) 学会賞授与式(平田副会長)

代議員総会に続き執り行われ、学会賞、功労賞が授与されたことが報告された。

(3) 第 71 回大会(久保副会長、今川理事、峯木理事)

盛会のうち終了したと報告され、次回大会に向け、英語での発表の受入れ体制、学会当日の出席者との連絡方法等について今後検討することを満場一致で承認した。

第 3 号議案 第 72 回以降の大会(綾部理事、大塚会長)

綾部理事より高崎健康福祉大学で開催される第 72 回大会の準備状況が報告された。大塚会長より、73 回以降の計画が示され、75 回大会は当初計画していた東北・北海道支部開催は難しいと判断し関東支部に変更、79 回を東北・北海道支部開催とすることを満場一致で承認した。

第 4 号議案 家政学夏季セミナー(久保副会長)

各エクスカッションの受け入れ可能人数の確認を行い、募集人数枠の拡大を満場一致で承認した。

第 5 号議案 新年度の課題

(1) 会長・副会長(大塚会長、久保副会長、平田副会長)

新年度の活動方針として、学会の将来に向け会員数の維持、若手研究者育成に注力すること、夏季セミナーや活動助成の在り方について再検討すると報告があった。

(2) 総務委員会(綾部理事、杉浦理事)

会員管理、議事録の作成、総会の運営、規程等集の整備などを行っていくことが報告された。

(3) 財務委員会(大塚会長)

年会費は不課税であることを徹底させることも含め、財政の健全化に努めるとの方針が示された。

(4) 企画・広報委員会(久保副会長)

・年次大会運営委員会(綾部理事)

高崎健康福祉大学で開催する第 72 回大会の準備の進捗状況が報告された。

・家政学夏季セミナー(久保副会長)

2020 年度第 5 回について、各部会・支部から企画案を募集していることが報告された。今後の夏季セミナーの在り方について継続して検討することを満場一致で承認した。

・情報管理委員会(小林理事)

新年度の活動方針の報告があった。久保副会長より、中部支部のホームページの学会本部ホームページへの移設案が示され、満場一致で承認した。

・部会長の交代(久保副会長)

被服心理学部会、服飾史・服飾美学部会の部会長交代の届け出を満場一致で承認した。

(5) 国際交流委員会(堀内理事)

新年度の活動方針の報告、国際交流セミナー参加者のアンケート結果の報告があった。

(6) 編集委員会(峯木委員長、山口副委員長)

今年度は季節にあったシリーズ原稿を企画するなど、更なる充実を図っていくことが報告された。

(7) 刊行委員会(久保副会長、定行理事)

住居関連の事典を、丸善出版から刊行する方向で準備を進めていることが報告された。

(8) 学会賞選考委員会・功労賞推薦委員会(平田副会長)

若手の論文投稿や学会活動の活性化、若手研究人材の育成に注力するとの方針が示され、満場一致で承認した。

(9) 家庭生活アドバイザー資格認定委員会(戸田副会長代理赤塚委員)

学会ホームページで今年度の募集が始まっていること、今年度の研修及び試験日程が報告された。

(10) 東日本大震災生活研究プロジェクト(大塚会長)

今年度も従来通り、科研費等外部資金で支えられない費目のみ支援し、活動助成金という形の支援は行わない方針が示され満場一致で承認した。

第 6 号議案 その他

(1) 協賛依頼等について(平田副会長)

4 学協会からの協賛依頼と 1 特定非営利活動法人からの後援依頼を満場一致で承認した。

(2) 事務局職員 B の辞令、および事務分掌等(大塚会長)

就業規則の改正案、並びに事務局職員 B の契約更新を満場一致で承認した。

(3) 学会費にかかる消費税について(大塚会長)

学会費は論文投稿や大会での発表、学会員との意見交換等の学会活動のためであることを会員に周知する方法を検討し、学会費と入会金が不課税であることを明確にするための整備を進めることを満場一致で承認した。

【報告】

報告事項 1 退会者及び会員現況報告等(平田副会長)

5 月末日付けの会員動向が報告された。

報告事項 2 支部報告(各支部長)

各支部から、活動実績及び予定が報告された。関西支部から内規改正が報告された。

報告事項 8 編集委員会(峯木編集委員長)

学会賞受賞論文の学会誌への掲載にあたり、来年度以降は校正を行うことが報告された。

報告事項 11 その他(大塚会長)

次期代議員の選出にあたり立候補の依頼、および各支部の選挙日程が確認された。

以上